

緑あふれる文化のまち黒埼を基本目標に一層の努力

(前略) 平成七年度の国内経済は、(中略) 個人消費や民間設備投資に緩やかな回復傾向がみられるようになってきております。しかしながら、新年度の地方財政は、(中略) 引き続き大幅な財源不足の状況に置かれており、(中略) 財政の健全性の確保に努力する必要がありますと考えられます。/ 当町におきましても、平成七年度末町債残高が、六十三億七千五百円を越える見込みであり、加えて所得税・住民税や地方交付税も憂慮される厳しい財政状況であります。国・県との連携を保ちつつ、事業推進のため、努力してまいり所存であります。(中略) さて、私は二十一世紀の新しい黒埼町のまちづくりを実現するため、第四次総合計画に提唱され、黒埼町の将来像である『緑あふれる文化のまち黒埼』のふれあういきいき黒埼をめざして、基本目標として、一層の努力をいたす所存であります。(中略) 第一は、水と緑を愛する環境重視のまちであります。(中略) 黒埼地区の農村公園「宮の森・木場城公園」を完成させ、この事業の基であります農村総合整備モデル事業の竣工式を十一月に計画しているところであり、(中略) 第二は安心していきいきと暮らせる健康と福祉のまちであります。/ 保

地域防災計画を策定し、災害に強く安全で住みよい明るいまちづくりを目指します

総務費 19億8536万1千円

(+ 7146万8千円)
総務費は、予算総額の30.1%を占めます。大半は人件費で17億2157万円。特別職等の報酬などを近隣市町村の動向などを考慮して改定します。
町民海外派遣研修事業を昨年度に引き続き実施いたします。
町史編さん事業は平成8年度は、民俗編を刊行する予定です。
また、現在地域防災計画を策定中ですが、災害に強く安全で住みよい明るいまちづくりを目指します。
また、犯罪のない明るいまちづくりを推進するため、関係機関と連携し、防犯対策の強化に努めます。
交通安全は関係団体の育成や交通安全思想の啓蒙等に努めます。

・特別職(町長、助役、収入役)給料	2312万4千円
・教育長給料	610万8千円
・職員給料(212人分)	8億4296万7千円
・職員手当等	5億2661万8千円
・共済費	3億5198万5千円
・町長交際費	339万9千円
・町史編さん費	2475万円
・広報等の印刷製本費	698万3千円
・交通安全対策費	1345万円
・自治会長委託料	607万1千円
・広域行政対策費	840万6千円
・徴税費	5356万3千円
・戸籍住民基本台帳費	1004万8千円
・選挙費	779万2千円
・統計調査費	128万3千円
・監査委員会費	188万4千円



町民海外研修

国庫補助事業の新規として須上線を整備

土木費 13億7540万5千円

(+ 2億9154万3千円)
道路環境整備では、国の第11次道路整備五カ年計画に基づき、鳥原寺地線を始め山田村中線を国庫補助事業の継続で、新規として須上線を計画しています。
町単独では川前板井村中線、木場村中線等前年度に引き続き実施するほか補修工事も従来通り実施していきます。
国の事業につきましては、国道8号大野大橋の架け替え整備等、昨年同様関係機関と調整を図り推進します。県の事業については、新潟・寺泊線の用地取得も完了するため事業の延伸について関係自治会と調整を図り、事業化を要望します。
新潟大外環状線の整備推進については、構成八市町村で県に要望していきます。
また、黒埼北部土地区画整理事業については、平成8年度が最終事業年度になりますので、昨年に引き続き組合の指導に当たります。
また、排水施設の整備については、善久排水路、立仏宅地排水路等実施します。

・都市下水路費	3129万4千円
・公園事業費	3635万7千円



大野大橋

**やさしさとたくましさ
を育む教育活動の充実をはかる**

教育費 6億1459万3千円

(+ 6688万円)
学校教育では立仏小学校の特別教室の増築を行い、特別教室の不足の解消やコンピュータ機器の導入による情報教育の推進、整備を図ります。更に、黒鳥小学校校舎の外壁補修、木場小学校屋内運動場の暗幕の設置、板井小学校プールの塗装補修及び黒埼中学校校舎屋上の補修や駐車場の設置などの整備事業を行います。また、ふれあい教育センターにおける教育相談や教職員の研修などやさしさとたくましさをはぐくむ教育活動の充実に努めます。社会教育については、生涯学習推進第二次中期計画の見直しが終わったことから、この計画に沿った事業の展開を図ります。また、ふるさと創生文化事業なども引き続き開催します。

・教育委員会費	1898万9千円
・ふれあい教育センター事業費	599万1千円
・小学校費	4億1221万7千円
(うち学校建設事業費)	3億1327万5千円
・中学校費	5187万2千円
・社会教育総務費	963万2千円
・公民館費	1919万9千円
・文化財保護費	576万円
・青少年問題対策費	441万1千円
・図書館費	1120万5千円
(図書購入費)	344万円
・保健体育総務費	1614万4千円
・社会体育費	2154万円
・学校給食費	3763万3千円



立仏小学校

**身近な水辺環境の再生
事業として保健センターに小川を再生**

衛生費 5億9002万8千円

(- 2億8551万4千円)
環境衛生の向上については、快適な住みよい生活環境づくりを進めるため、ごみの適正処理並びに再資源化事業として生ごみ処理器及び古紙集団回収補助事業を推進、ごみの減量化と資源の再利用を図ります。
緑化事業については、板井小学校及びふれあい教育センター駐車場内に植栽を計画し、公共施設の緑化に努めます。
また、保健センターのまわりには、身近な水辺環境の再生事業として、水生生物が共生できる自然循環型の約二百メートルの小川を再生し、子供たちのための環境学習を推進してまいります。
保健衛生につきましては、保健センターを中心とした町民の健康づくり、健康診査など実効ある事業を推進します。

・ごみ収集委託料	6039万5千円
・新潟地区広域清掃事務組合負担金(一般分)	1億7703万4千円
(建設分)	7161万9千円
・古紙集団回収事業助成金	50万円
・精神障害者医療扶助費	252万円
・高額療養費資金貸付金繰出金	400万円
・母子衛生費	2138万5千円
・予防費(検診委託等)	2821万2千円
・保健センター管理費	1154万7千円



新中の保健センター小川

民生費 5億6065万5千円

(+ 6388万1千円)
在宅福祉対策としては、介護負担を軽減するディサービス、ホームヘルプサービス事業の充実に努め、ショートステイについても、虹の里が開設されたので、利用者の拡大に努めます。また、新規事業として、社会福祉協議会において実施する、あったかネットワーク事業に対し補助を行います。
児童福祉対策としては、以前から要望のあった昼間保護者のいない小学校低学年児童の健全育成を図るため、児童クラブを山田地区に開設します。
老人福祉対策は、郡北福祉会による特別養護老人ホーム建設に努力します。

・社会福祉協議会補助金	1452万9千円
・老人福祉総務費	1億8429万8千円
老人ホーム入所委託料	1億347万9千円
ホームヘルプサービス事業委託料	1599万6千円
ディサービス事業委託料	2311万円
在宅高齢者日常生活支援事業委託料	113万7千円
郡北福祉会老人ホーム建設債務負担金	1390万2千円
老人日常生活用具給付助成費	217万5千円
・国民年金事務費	2875万9千円
・障害福祉費	3938万3千円
・児童福祉費	2億3273万9千円
児童措置費	5881万2千円
黒鳥保育園委託措置費	4199万7千円
保育所改修工事費	450万円
私立保育園補助金	579万4千円
保育所地域活動事業費	83万5千円
わくわくクラブ措置費	626万円
など	



社会福祉協議会ショートステイ